

別紙 2-1

保護者・当事者向け

1. はじめに

1) ご回答者について

- ・ご自身に合うものを下記から選んでください。  
保護者      当事者      その他 [ \_\_\_\_\_ ]
- ・お住まいの地域をお書きください。  
[ \_\_\_\_\_ (都・道・府・県) \_\_\_\_\_ (市・町・村)]

2) お子さん(当事者の方はご自身)について

- ・年齢をお書きください。[ \_\_\_\_\_ 才]
- ・診断名がある方はお書きください。[ \_\_\_\_\_ ]

2. 支援サービスの提供についての質問

以下に示す 10 項目は、発達障害のある人たち(児および者)に必要と思われる支援サービスの提供にかかわる体制・環境等についてリストアップしたものです。これらの 10 項目から「あなたが支援サービスを受ける際に必要であると思われる項目」5 項目を選び記入して下さい。

(      )      (      )      (      )      (      )      (      )

1. スタッフの教育がされている。
2. スタッフ教育の時間が充分である。
3. 実践の場を通してのスタッフ教育(スーパーヴィジョン含む)がされている。
4. 一般の授業形式(座学)で支援・授業がされている。
5. 施設外のスタッフを招いたり、施設外の研修に参加しているか
6. 障害者権利条約批准に関わる社会状況の学習
7. 障害特性に応じたサービスをすること
8. 個別のアセスメントに基づいた支援計画を立てること
9. 利用者一人当たりのスペースが十分であること。
10. 感覚問題に配慮した環境調整がされていること。

3. 支援サービスの具体的内容についての質問

1) 支援サービスの中で行ってほしい配慮(環境調整)についてお聞きします。

以下に示す 24 項目の内容は、発達障害のある人たち(児および者)に必要と思われる配慮(環境調整)をリストアップしたものです。

これらの 24 項目の内容から「あなたが支援サービスの中で満たしてほしい内容」を 10 項目選んでその項目番号を以下に記入して下さい。

( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( ) ( ) ( )

1. 書字情報を音声化して情報伝達すること。
2. 活動中・作業中にリマインダーを使用すること。
3. 情報の内容と量を本人の理解力に合うように調整すること。
4. 1日のスケジュールや次の活動内容を事前に提示すること。
5. ICT（例えば、タブレットなど）の使用。
6. 本人が読みやすい背景色と文字色の組合せを使うこと。
7. 感覚過敏に配慮すること。（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）
8. 扱いやすい道具や教具の準備（持ちやすい食事具やコンパスなど）
9. ワープロや計算機の使用を認めること。
10. 本人の状況理解のペースを尊重すること。
11. 活動や作業に不要な刺激や情報を撤去すること。
12. 曖昧さのない明確でわかりやすい情報提示の工夫。
13. 作業や活動の手順書を準備すること。
14. 視覚的な情報提示やコミュニケーション方法の使用（文字、絵文字、絵カードなど）。
15. 到達目標のある課題（テスト等）の時間延長。
16. 一対一のコミュニケーションを基本とすること。
17. 口答での伝達を簡潔でわかりやすいものとする。
18. 本人の注意集中の持続時間に見合う課題の小ステップ化やゴール設定を行うこと。
19. 姿勢が安定するような補助具の使用（座位の補助マットなど）
20. 本人に合わせて活動中・作業中の休憩を適宜とること。
21. 漢字のふりがなや拡大文字などのわかりやすい情報伝達の工夫。
22. 同時に複数の作業や活動を求めないこと。
23. 本人の活動のペースを尊重すること。
24. カームダウンエリア（気持ちが乱れた時に落ち着くための場所）を設定すること。

## 2) 支援サービスに必要と思われるその他の内容についてお聞きします

支援サービスに以下の内容がどの程度必要と思うかについて、以下の4段階のいずれかを塗りつぶして（■）答えて下さい。（以下は回答の仕方の例です）

不要 ----- 必要度・小 ----- 必要度・中 ----- 必要度・大

1. 本人の特性への配慮をしつつ本人が成長することへの工夫がある。

不要 ----- 必要度・小 ----- 必要度・中 ----- 必要度・大

2. 配慮事項を本人自らが使えるようになるための工夫がある。

不要 ----- 必要度・小 ----- 必要度・中 ----- 必要度・大

3. 家族が本人を十分に理解するための家族支援の工夫がある。

不要 ----- 必要度・小 ----- 必要度・中 ----- 必要度・大

4. 家族の子育て力が向上していくための家族支援の工夫がある。

不要 ----- 必要度・小 ----- 必要度・中 ----- 必要度・大

5. 本人の意思を尊重している。

不要 ----- 必要度・小 ----- 必要度・中 ----- 必要度・大

#### 4. 支援プログラムのニーズについての質問

\*ここでいう「支援プログラム」とは発達障害のある人たち（児および者）やその家族に対する様々なものを含みます。例えば、TEACCH、応用行動分析（ABA）、ソーシャルスキルトレーニング（SST）、感覚統合、PECS、発達障害向けの学習プログラム、ペアレント・トレーニング、ペアレント・メンター等です。

##### 1) 現在、支援プログラムを利用していますか。

1. はい (⇒①へ)                      2. いいえ (⇒②へ)

##### ①「はい」と回答した人にお聞きします

(1) 現在、利用している支援プログラムの名称を記入下さい

[ ]

(2) その支援プログラムをどのように見つけましたか。

[ ]

(3) その支援プログラムに対してどの程度満足しているかについて、以下の4段階のいずれかにチェック (☑) を記入して答えて下さい。

満足していない ----- 満足度・小 ----- 満足度・中 ----- 満足度・大

##### ②「いいえ」と回答した人にお聞きします

(1) どんな支援プログラムを受けたいですか。

[ ]